



■成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	観光入込客数	人	183,001	R2	207,428	213,712	212,663	220,000
2	エコツーリズムのイベント参加者数	人	141	R2	98	118	108	270
3	観光協会ホームページ訪問者数	人	181,722	R2	224,617	248,438	280,221	235,000
4	まちづくり観光に関わる団体数	団体	84	R2	75	74	76	85
5								
6								
7								
8								

■市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	重要度 0.77 満足度 ▲0.91	0.87 ▲0.73	0.80 ▲0.63	市民からみた観光地としての魅力、観光施設の充実の重要度はやや高いが、満足度は低い結果となっている。市内への誘客を促進するためには、市外の方だけでなく、市内の方へも歴史、文化、グルメなどの観光コンテンツを情報発信し、関心を高める必要がある。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 地域資源を生かした持続可能な観光政策の推進	亀山7座のトレッキングイベントにより、自然観光の認知度は向上し、登山者同士の交流も深まった。今後、観光施設等を活用した亀山版グリーンツーリズムにつなげていく。
② 観光プロモーションの強化	「アートが生まれる街、亀山」をコンセプトに、3年目のテーマ「学」を中心に活動を展開した。地域活性化起業者人制度を活用し、体験型観光コンテンツなどの造成を行った。
③ まちづくり観光を支える人材と組織の育成・確保	観光情報の発信や各種イベントの実施など観光協会の運営を支援した。今後も継続して市内観光地の活性化に向けて亀山市観光協会や(一社)DMOカメラマモデルと連携を強化していく。
④ 快適に滞在できる受け入れ環境の充実	観光施設の施設整備を行い、快適かつ衛生的な環境を整えた。今後も適切な観光施設の運営、管理を行うとともに、利用者の利便性の向上に努めていく。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

地域資源を生かした持続可能な観光政策の推進については、亀山7座でのトレッキングイベントの毎月開催やいこか連携イベントでの交流を通し、自然観光の認知度を高めることができた。観光プロモーションの強化については、亀山市観光協会や(一社)DMOカメラマモデル等と連携して、第2次亀山市観光振興ビジョンの3つの基本戦略と11の施策に基づいて取り組みを行った。本ビジョンの基本戦略の一つである情報発信のクオリティアップでは、昨年度に続いて「アートが生まれる街、亀山」をコンセプトに、3年目のテーマである「学」にまつわる亀山トリエンナーレを中心に市内外へ情報発信することで、亀山のアート文化への理解促進と本市の知名度向上を図ることができた。また、地域活性化起業者人制度を活用し、市内誘客に向けた観光資源の発掘や観光コンテンツの造成により亀山版グリーンツーリズムの展開へ順調に進めることができた。納涼大会や関宿祇園夏まつり、街道まつりなど、観光協会や商工会議所青年部、市民や地域関係団体が一体となって祭りやイベントを開催することで、まちづくり観光を担う人材の育成が図られ、組織の活性化にもつながった。快適に滞在できる受け入れ環境の充実については、民間の経験やノウハウも活用しながら適切な観光施設の運営、管理を行った。石水溪バンガロー施設については6棟に空調機を設置し、トイレの改築については設計、工事着手するとともに、観光駐車場については、旧若草住宅の跡地を活用して第2観光駐車場として整備し、新たに44台を確保するなど利用者の利便性の向上を図ることができた。全体としては、コロナ禍後の余暇活動の変化により、成果指標の観光入込客数は減少しているものの、観光協会ホームページ訪問者数は年々増加しており、これまでの様々な媒体を活用した情報発信により本市への関心の高まりを推察できることから、基本施策の目指す姿に向けては、まずまず進んだと考える。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

観光プロモーションのコンセプト「アートが生まれる街、亀山」に沿って、これまでに作成したWEBサイトや動画、ポスターを活用した情報発信のほか、インスタグラム等のSNSを積極的に活用し、様々な年代や報道関係者等に向けて、効果的に市の魅力を発信していく。また今後は、本市への誘客を促進するため、企業や学校などの教育旅行をターゲットとしたモニターツアーを実施するほか、地域活性化起業者人、亀山市観光協会や(一社)DMOカメラマモデルと連携し、観光資源や体験型観光コンテンツについても効果的に発信していく。さらに、近隣市町との広域連携についても一層の強化を図りながら、市内観光施設への回遊性を高めていく。一方、まちづくり観光を推進するため、関係団体の増加や観光協会の経営強化に結びつくよう、関宿にぎわいづくり基金の活用や各種イベントの開催などを通じて継続した支援を行っている。